

『測量・地理空間情報イノベーション大会』開催主旨

■ 開催主旨：

公益社団法人日本測量協会は、9,600名を超す正会員を有し、5,000名近い地理空間情報専門技術者の認定者が登録されている。しかしながら、正会員や地理空間情報専門技術者らの多く会して、測量・地理空間情報技術に関する最新動向を討議する場がこれまでなかった。また、本協会には本部と全国に10支部があるが、全国の会員が一堂に集まる場もなかった。

過去においては、毎年、全国測量技術大会が当協会を含む測量関連4団体の共催で測量機器等の展示とシンポジウムの内容で開催されたが、現在では政府主導の産学官連携によるG空間EXPOに統合され、これからのG空間社会やそのための技術等について、広く国民に発信する場として環境が整備されている。

しかしながら、「測量・地理空間情報」と言った技術をより深耕させ、さらにそれらの技術動向等をプロ向けに発信していく場として十分とは言えないことも事実である。

このような現状を鑑み、「測量・地理空間情報」に関する全国ベースで技術的な情報を発信する場を構築することが必要であり、9,600名超の正会員と5,000名近い地理空間情報専門技術者、250名の空間情報総括監理技術者、さらには広くこの業界の関係者らが集うことができる「測量・地理空間情報分野の大会」すなわち、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を当協会の公益事業の一環として開催する。

なお、昨年7月14日に「測量・地理空間情報プレ・イノベーション大会」を開催したところ、好結果を得ており、その経験等を活かして今回本大会を開催する次第である。

■ 「測量・地理空間情報イノベーション大会」と称するねらい：

イノベーションは「技術革新」と訳されている。他に例を見ない独自性の高い技術を開発していくことは、測量・地理空間情報分野においても必要な目標である。

測量・地理空間情報分野においてもイノベーションを推進することが、公益社団法人である本協会の重要な将来構想の一つと考えられる。

加えて、イノベーションを冠した大会であれば、技術者に限らず、経営者も含めた広い層から様々な関心をもって参加してもらえるものと期待される。また、測量・地理空間情報技術に関連して、大学、研究機関、民間企業等で推進しているイノベーションを発表できる場を提供していくことも今後は可能となる。

■ 「測量・地理空間情報イノベーション大会」で扱う主な発表内容：

- ◇学術的な論文の発表（「応用測量技術研究発表会」を本大会に含める）
- ◇地理空間情報事例報告等の発表
- ◇新製品・新商品等に関する発表（ベンダーフォーラム的な最新情報の発信）
- ◇新事業・新市場等に関する発表
- ◇新研究・新開発・新発明（特許等）・新手法・新技術などに関する発表
- ◇人材育成・人材教育・キャリアパス等に関する発表
- ◇起業やマネジメント等に関する発表
- ◇その他

「技術」と「ビジネス」をキーワードにして、“技術とその動向”、“技術者づくり”、“新たな測量・地理空間情報事業”など、広範な発表を扱う。

「測量・地理空間情報イノベーション大会」概要

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを利用した新ビジネスの展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催する

■開催日時：平成27年6月23日(火)～24日(水)

大会終了翌日の25日(木)は当協会の定時総会が開催

■大会会場：東京大学弥生講堂一条ホール・アネックス

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

東京メトロ南北線「東大前」駅下車 徒歩1分

東京メトロ千代田線「根津」駅下車 徒歩5分

■主催：公益社団法人 日本測量協会(日本学術会議協力学術研究団体)

■共催：スペーシャリストの会(空間情報総括監理技術者の会:SPの会)

ジオメトリストの会(地理空間情報専門技術者の会:GMの会)

■後援：国土交通省 国土地理院